

平成 24 年度第二回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 24 年 10 月 3 日（水） 午後 2 時～午後 4 時 40 分	
開催場所	魚津市役所第一会議室	
出席者	<p>【魚津市行政改革推進委員】</p> <p>中村和之、慶野達二、青山芳枝、浅野朱実、岩井哲雄、吉田讓、若林忠嗣</p> <p>【事務局】</p> <p>沖本企画総務部長、殿村総務課長、新浜財政課長、南塚総務課長代理 宮崎財政課長代理、武隈財政課主任、広田総務課主任</p>	
欠席者	岡本安克	
開催形態	公開（傍聴者 1 名）	
議 題	<p>○議事</p> <p>1 公共施設のあり方検討について</p> <p>①公共施設の状況について</p> <p>②今後のスケジュールについて</p> <p>2 その他</p>	
会議概要	事務局	<p>○議事</p> <p>それではこれより、第二回魚津市行政改革推進委員会をはじめていきたいと思います。</p> <p>本日の予定ですが、次第のとおり進めていただきまして、終了は午後 4 時ごろを目途にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは早速議事に移りたいと思いますが、ここからの進行は中村会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
	会長	<p>皆さまご苦勞様でございます。</p> <p>先日の第一回委員会におきましては、人口や財政状況の将来推計、公共施設の現状などについて確認をしたところではありますが、今日はそれをさらに一歩進めることができればと考えております。</p> <p>二時間ということで限られた時間ではございますが、皆さまからご意見を頂戴したいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは次第に沿って、議事のほうを進めてまいりたいと思ひます。</p> <p>まず、議事の一つ目であります公共施設のあり方検討についてということで、事務局のほうからご説明願ひします。</p>
	事務局	<p>それでは事務局よりご説明いたします。</p> <p>本日、委員の皆様には議論いただきたい内容ですが、はじめに事務局より資料 1 について各施設の状況を簡単にご説明いたしますので、その後、委員の皆様には、施設全体をとおして、若しくは各施設の区分ごとに、どん</p>

	事務局	<p>な課題があるのか、また、どういった視点で課題を検討すべきかについて、本日追加でお渡ししております事務局メモを参考としていただきながら議論いただきまして、ご意見を出していただければと思います。</p> <p>なお、事務局メモにつきましては、中間報告に向けて整理すべきであろう項目について資料1や施設管理シートをもとに列挙したものでございまして、エリア別の整理も必要ではないかということで、利用区域別区分についても参考までに載せてございますが、もっとこういった整理も必要ではないかとか、記載してある内容などについても、もっとこういう表現のほうがいいんじゃないかといったように、加除修正などしていただきながら活用してもらえればと思います。</p> <p>また、議論を進めていく中で、もっと掘り下げて検討が必要だが検討するための材料がない、資料が足りないといったこともあるかと思います。</p> <p>そうった場合には、こういった資料がほしいと言っていただければ次の委員会に向けてご用意したいと考えておりますので、そういった意見のほうも併せてよろしく申し上げます。</p> <p>なお、スケジュールについては最後に改めてご説明いたしますが、若干スケジュールを変更しております、第3回に予定しておりました現地視察を現段階では省略させていただき、4回目の委員会で予定しております担当課ヒアリングに向けた課題の抽出・ヒアリング事項の整理などを3回目の委員会で行いたいと考えております。</p> <p>そういったことから、不足する資料があれば3回目の委員会に向けてご用意いたしますので必要な資料を言っていただきたい、ということでございます。</p> <p>それでは早速資料1の説明をさせていただきたいと思いますが、資料の説明につきましては財政課のほうからお願いしたいと思っております。</p> <p>それでは時間の関係もございまして、私のほうから簡単に資料1について触れていきたいと思っております。</p> <p>資料No.1「市が保有する施設の状況について」をご覧ください。まず1ページ目をご覧ください。</p> <p>施設整備の状況、グラフが載っているかと思っております。</p> <p>小中学校については、昭和40年から60年ごろにかけて建設されたものが多いことから、全体の約52%がこの時期に建設されております。また、築後40年以上経過したものが12.5%、30年以上のものが44.6%といった状況になっております。</p> <p>グラフの中には、見にくい部分もあるかと思いますが、各建設年度における主な施設を書き出しております。それから、赤の点線で囲ってある部分は、ちょうど昭和55年以前の部分を囲んでおります。いわゆる旧耐震</p>
--	-----	---

	<p>基準で建設された建物ということで、面積が約 81,000 m²で全体の約 42% を占めております。下の※印にもありますとおり基本的には昭和 56 年 6 月改正前のものというのは、耐震性を確保するための耐震化が必要な施設が多くなっているということでもあります。</p> <p>実際に耐震診断してみないと分からない部分もありますけれども、そういった可能性が高いということでもあります。</p> <p>なお、グラフ中の単位が抜けておりましたが、下軸はm²となります。次に 2 ページ目をご覧くださいと思います。</p> <p>2 ページ目は施設の耐震化の取組みについてであります。</p> <p>資料にもありますのとおり、学校や公民館は避難所として指定されておりますし、市の庁舎はそういったときの拠点となるべき施設ということで、公共施設の耐震化というものが求められます。</p> <p>しかしながら、厳しい財政状況もありますので、当面は小中学校の耐震化を最優先にしているという状況であります。</p> <p>下の表であります、耐震性の状況ということで、延床面積Aとそのうち耐震性を有することが明確な面積Bをあげまして、Aに対するBの割合を記載してあります。低い割合の部分は耐震性がない可能性が非常に高いといったことで、本庁舎、分庁舎、幼稚園については非常に低い率になっているということでもあります。</p> <p>それから 3 ページをご覧くださいと思います。</p> <p>施設の現状ということで、これは前回見ていただいたかと思いますが、159 の施設について分類ごとの建物の面積と土地の面積を表示してあります。学校教育施設が 35% と高い割合を示しております。</p> <p>4 ページをご覧くださいと思います。</p> <p>ここに記載されております建物の維持管理運営経費につきましても、前回見ていただいたかと思いますが、施設区分ごとに 22 年度決算の維持管理運営経費として、支出と収入、またその差引きしたものを載せてありますが、22 年度決算で約 19 億円、毎年施設の維持管理費にかかっているということになります。※印にもありますが、スポーツ施設など指定管理者を導入施設におきましては、利用料金を指定管理者の収入とみなすということで、市から出します支出はその差引き部分だけといったことがありますので、少し見方を注意していただきたいと思います。</p> <p>それから、5 の施設の改修・建替え経費の推移ということでもあります、耐用年数を建物 60 年としまして、今後 65 年間、修繕・改修・耐震化・建替えといったものにどのくらいかかるかということを試算した結果、837 億円総額かかるということで、1 年あたり 12 億 9 千万円見込まれるところでもあります。試算の前提は下に書いてあるとおりであります。</p>
--	---

	<p>次に6ページ目、一人当たり施設の延床面積といったものを、類似団体あるいは県内自治体と比較した表であります。</p> <p>類似団体との比較では、17団体中6位といったところに位置付けられますけれども、合併の関係でいいますと、合併をしていない団体だけで比較しますと8団体中2位といったことになりますので、高いところにあるということになります。</p> <p>それから、県内自治体との比較を見てみますと、14団体中9位ということで、14団体の平均5.11は下回っているということになります。</p> <p>次に、6ページ目をご覧ください。6ページ以降は主な施設の概要ということで、主な施設の区分ごとといえますか、具体的な施設も含めて管理運営主体、老朽化の状況、管理運営経費、利用状況といったものをまとめたものであります。</p> <p>例えば、A市庁舎等の中の本庁舎でいいますと、本庁舎は昭和42年に完成した建物で40年以上経過していることから、大変老朽化が進んでいるといえます。耐震診断の結果からも補強や建替えといったことが必要になっているということでもあります。管理運営主体はもちろん魚津市直営ということでもあります。老朽化の状況ですが、建設年度、経過年数、再調達価額①、減価償却後残高②といった数字を入れることによって老朽化比率③が算出され、本庁舎の場合は85.7%といった老朽化比率となります。</p> <p>再調達価額と減価償却後残高については、分かりにくい言葉がありますので、それについては下のほうの※印①、②で説明書きを載せてあります。</p> <p>次に第一分庁舎であります。昔の税務署建物を購入してできたもので、教育委員会、新川広域圏、魚津市交通センターといったところが事務所として利用しております。昭和41年に建設されておりますので、大変老朽化が進んでいるということでもあります。7ページ目にありますとおり、老朽化比率81.3%、年間総コスト14,216千円、市民一人当たり負担額318円ということでもあります。</p> <p>続いて第二分庁舎であります。魚津労働基準監督署の昔の建物を購入して、現在、上下水道局が事務所として使っているところでもあります。</p> <p>この建物についても、昭和42年建設ということで、老朽化が進んでおります。年間総コスト、市民一人当たり負担額はご覧のとおりであります。</p> <p>消防本部であります。消防本部は平成7年1月に今の場所に新築移転しております。消防本部につきましては、今現在、広域化の取組みということで、滑川市、上市町、舟橋村と一部事務組合を設立して一緒にやっということを今、取り組んでおりまして、現在の建物に少し増築をしまして、広域の本部を設置する予定としております。</p> <p>次の8ページをご覧ください。</p>
--	--

	<p>老朽化比率が 58.4%となっており、コスト等についてはご覧のとおりであります。</p> <p>次に健康センターであります。</p> <p>健康センターも建設後 25 年経過ということで、少しずつ老朽化に伴う修繕箇所が出てきておるとい状況であります。老朽化比率は 64.1%、コスト等についてはご覧のとおりであります。</p> <p>続いて学校給食センターです。</p> <p>学校給食センターは平成 15 年度に建て替えた施設ということで、比較的新しい建物となっております。9 ページにありますとおり、老朽化比率は 33.6%、市民一人当たり負担額は少し大きくなっており 3,817 円といった数字が出ております。</p> <p>次に 10 ページをご覧くださいと思います。</p> <p>B 学校教育施設のうち小学校であります。</p> <p>昭和 56 年度のピーク時児童数 5,258 人に対し、平成 22 年度が 2,359 人ということで、半数以下に減少しております。</p> <p>中段以降ですが、12 校のうち半数の小学校が建設後 30 以上経過しております。昭和 56 年以前の旧耐震基準の建物が多いということから、耐震化が必要ではありますが、今現在、耐震化率は 64%ということで、これは県内、それから全国的に見ても遅れている状況にあるということがいえます。また、小学校は避難施設としても指定されております。</p> <p>11 ページをご覧ください。</p> <p>老朽化の状況は、各小学校別に記載されております。</p> <p>それから、年間総コストは全体で約 5 億円余りといった数字になっております。</p> <p>それで、下の表ですが、前回の委員会でご指摘をいただいております各学校の児童一人当たりで比較するとどのような状況になるのか把握することも必要なのではないかとということから、児童一人当たりのコストということで載せてあります。うち、坪野小学校はご存知のとおり今年の 4 月に廃校となっておりますが、やはり一人当たりになると高い数字になっていたということで、参考までに載せております。</p> <p>続いて 12 ページをお願いいたします。中学校であります。</p> <p>昭和 61 年にピークで 2,687 人でありましたが、これが平成 22 年には 1,187 人で小学校と同様に半数以下になっております。</p> <p>西部中学校は 21 年度から 3 年間で改築を完了したところであります。</p> <p>東部中学校が 30 年経過して古くなっていることから、ここの耐震化等が現在必要になってきているということでもあります。</p> <p>老朽化比率ですが、西中は出来たばかりですが改築に関係しない年数が</p>
--	--

少し経過した建物が存在しますので、全体均しますと 12.9%という数字になります。東中は全体で 57%ということであります。

管理運営経費ですが、生徒一人当たりで見えますと、現在、生徒数にあまり開きがないことからそれほど大きな差がない状況になっています。

13 ページをお願いします。幼稚園であります。

市内に公立幼稚園は 2 園ありまして、これも少子化の関係から昭和 52 年度に比べまして約 3 分の 1 以下に減少しております。

また、いずれの施設も 30 年ほど経過していることから、老朽化比率も比較的高くなっています。管理運営経費の園児一人当たりコストを見ますと、経田幼稚園のほうがかなり大きな数字になっているということがいえます。

次に 14 ページをお願いします。教育センターです。

ここでは教職員を対象とした各種研修会の開催ですとか、非行防止のための指導・援助などを行っております。

また、建設後 40 年以上経過しているということから、老朽化がかなり進んでおります。老朽化比率 84.5%ということであります。

管理運営経費にはそれほどかけていないということから、市民一人当たり 166 円という低い数字になっております。

それでは 15 ページをお願いいたします。

C 児童福祉施設のうち、保育園であります。

公立保育園が 9 園、それから下に参考までにあげております私立が 8 園ございます。公立の園児数であります、昭和 56 年度 936 人に対し、平成 22 年度は 543 人と減ってきております。

建設後 30 年から 40 年経過している、老朽化が進んでいる保育園が多くなっているということであります。それについては、次の 16 ページに老朽化比率があがっており、魚津愛育園 78.4%、以下ご覧の数字になっております。

管理運営経費であります、職員が配置されておりますので、市民一人当たり負担額が 12,446 円とかなりおおきな数字になっております。

その下には園児一人当たりのコストということで、各園を比較できるようになっておりまして、片貝保育園がもっとも高いコストとなっています。

次に 17 ページをご覧ください。児童センターです。

児童センターは 5 館ありまして、その中でもこぼと児童センターが建設後約 30 年経過しておりますが、他の児童センターは比較的新しい建物といえるかと思えます。老朽化の状況、運営経費の状況は以下のとおりで、管理運営主体であります、これについては指定管理者制度を採用しておりまして、社会福祉協議会が平成 21 年度から 25 年度までの期間ということで指定されております。

		<p>次の 18 ページをご覧くださいと思います。</p> <p>管理運営経費の利用者一人当たりのコストということで、こぼと児童センターが他の児童センターよりもかなり大きくなっております。</p> <p>19 ページをお願いいたします。つくし学園であります。</p> <p>ここは福祉型児童発達支援センターとして位置づけされておまして、ここについては市外からの通所もありまして、園児数の推移、それから他の自治体から通所しておられる園児数についてはご覧のとおりです。</p> <p>建物が 37 年経過しているということで、老朽化に伴う修繕などが多くなってきております。ここについても社会福祉協議会が平成 24 年度までの指定管理者として指定がなされております。</p> <p>ここで管理運営経費であります、たまたま収入のほうが支出を上回っているということで、コストのところマイナス表示といったことになっておりますけれども、ここで拾いきれない支出というものも若干あるかと思っております、この拾い方でいくとマイナスになってくるということでもあります。</p> <p>次に 20 ページをご覧くださいと思います。老人福祉センターです。</p> <p>百楽荘と経田の 2 つがありまして、いずれも施設も 30 年以上経過している古い建物ということでもあります。</p> <p>また、利用状況、過去からの推移をグラフで表してありまして、減少傾向が見られるということでもあります。</p> <p>ここも指定管理者として社会福祉協議会が指定されております。</p> <p>21 ページは管理運営経費、年間総コスト、それから一人当たりの負担額が記載されております。</p> <p>22 ページをお願いします。高齢者ふれあいの家です。</p> <p>片貝と経田にそれぞれあります。いずれも元々古い民家を利用しているということで、老朽化がかなり進んでいるところでもあります。</p> <p>片貝につきましては、お風呂があるということで利用料をとるべきだろうということで利用料をとっております。経田につきましては、無料ということでもあります。</p> <p>利用者の状況はご覧のとおりで、ほぼ横ばいとなっております。</p> <p>23 ページにコストの関係を載せておりますが、コストはあまりかかっていないということで市民一人当たり負担額も小さな数字となっております。</p> <p>利用者一人当たりでコストを比較しますと、片貝のほうが経田よりも高い数字になっております。</p> <p>続いて 24 ページであります。障害者交流センターです。</p> <p>ここは比較的新しい施設で、経過年数も 7 年ということでもあります。</p> <p>ここも指定管理者として社会福祉協議会を指定しており、老朽化比率、</p>
--	--	---

	<p>コストの関係はご覧のとおりであります。</p> <p>25 ページをお願いします。E 社会教育・文化施設ということで、まず公民館です。</p> <p>公民館は市内に 14 施設ありますが、そのうち 13 施設が各地区に設置されている公民館ということで、老朽化が進んでいる建物が多いということで、老朽化比率はこの表のとおりであります。どこというよりも全体的に老朽化が進んでいる状況が見えるかと思えます。</p> <p>年間総コスト、市民一人当たり負担額はご覧のとおりであります。</p> <p>次に 26 ページであります。新川文化ホールです。</p> <p>ここは平成 6 年に富山県と魚津市が共同設置した施設ということで、大ホール、以下各種施設といえますか利用できる部屋等がございまして、建設後 15 年以上経過しているということから、最近、施設の修繕や機械の更新が特に増えてきている状況にあります。</p> <p>18 年度から指定管理者制度を導入しておりまして、利用料収入が近年増加しているということがこのグラフから分かるかと思えます。</p> <p>指定管理者として富山県文化振興財団が平成 21 年度から 25 年度まで指定されています。</p> <p>老朽化比率は、32.1% ということでそれほど高くはありませんが、入っている音響機器などについては、修繕や更新が多く出てきております。</p> <p>27 ページですが、市民一人当たりコストが 2,753 円となっています。</p> <p>ここも利用料収入を指定管理者の収入としておりますので、市は収支の差額だけを支出しているということになります。</p> <p>続きまして 28 ページをご覧ください。埋没林博物館であります。</p> <p>平成 4 年 4 月に全面リニューアルオープンした施設であります。</p> <p>平成 4 年以降、建設後 20 年経過したということで、海に近いということもありまして、色々な修繕、それから更新なども出てきているということでもあります。</p> <p>オープン当時、約 142,000 人という入館者数でありましたけれども、それ以降年々減っておりまして、平成 22 年度は約 40,000 人という数字になっております。今後、展示の部分の改修といえますか、リニューアルを検討しているところであります。</p> <p>老朽化比率は 61.7% で、市民一人当たり負担額は 2,263 円であります。</p> <p>それで、この施設については、平成 22 年度延べ利用者数と利用者一人当たりコストも出しておりまして、2,549 円となっております。</p> <p>次に 29 ページをお願いいたします。水族博物館であります。</p> <p>水族館は建設後、30 年経過しておりますので、老朽化に伴う修繕や更新が大きくなってきております。</p>
--	---

	<p>平成 25 年度には 100 周年を迎えますので、現在、そのリニューアルの工事をやっているところでもあります。</p> <p>平成 3 年のピーク時に約 284,000 人いた入館者が、平成 22 年には約 134,000 人となっております、減少してきております。</p> <p>また、老朽化比率は 78.5%、利用者一人当たりコストは 1,000 円ほど、市民一人当たりコストは 3,256 円となっております。</p> <p>次に 30 ページをお願いします。歴史民俗博物館です。</p> <p>吉田記念郷土館と合わせた利用状況はご覧のとおりであります、平成 2 年に約 11,000 人だったのが、平成 12 年には約 1,800 人まで落ちまして、平成 13 年からは入館料無料に切り替えております。その後、若干入館者が増えているということになります。</p> <p>老朽化比率はそれぞれ 60% 台、コストの関係はご覧のとおりでありまして、利用者一人当たりで 4,219 円ということでもあります。</p> <p>次に 31 ページお願いいたします。図書館です。</p> <p>図書館は平成 15、16 年度の 2 カ年で建て替えた比較的新しい施設でありまして、新しい建物がオープンした後、急激に登録者数、貸出冊数がともに増えておりまして、大変よく利用されているということがいえるのではないかと思います。</p> <p>老朽化比率は約 20%、市民一人当たり負担額は 2,720 円となります。</p> <p>32 ページをお願いいたします。新川学びの森天神山交流館です。</p> <p>昭和 55 年に開校した洗足学園魚津短大が平成 14 年に閉校となりましたので、その敷地・建物を無償で譲り受け、改修を行って、平成 14 年 6 月に開館した施設であります。</p> <p>建設後 30 年経過しているということもありまして、修繕・更新が必要となってきております。</p> <p>また、平成 18 年度からは指定管理者制度を導入しており、施設管理公社が指定管理者ですが、近年の利用者数、利用料収入の推移はご覧のとおりで、ほぼ横ばいになっております。</p> <p>目的別の利用なども載せておりますが、音楽の部分が多くなっているのが分かるかと思います。</p> <p>コストの関係は 33 ページのとおりであります。</p> <p>34 ページは F スポーツ施設ということで、総合体育館、温水プールの状況であります。</p> <p>平成 2 年に約 120,000 人いました総合体育館の利用者数が、22 年では約 8 万人といった状況であります。</p> <p>温水プールは平成 2 年の約 63,000 人から 22 年の約 45,000 人といった推移となっております。</p>
--	---

	<p>35 ページがその温水プールの利用状況の推移であります。</p> <p>魚津市体育協会が平成 23 年度から 27 年度までの指定管理者ということ であります。</p> <p>温水プールの老朽化比率が 96.6%と非常に高くなっております。</p> <p>続いて 36 ページ、テクノスポーツドームであります。</p> <p>利用状況の推移についてはご覧のとおりでありまして、総額 60 億円と いう大変大きなお金をかけて建設された施設でありまして、平成 22 年で 約 257,000 人という利用状況となっております。</p> <p>それから、ご覧のとおり施設別の利用状況なども載せてございます。</p> <p>魚津市体育協会が指定管理者となっております。</p> <p>コストの関係は 37 ページのとおりでありまして、一人当たりの負担が 結構高い数字になっています。</p> <p>次に、38 ページは桃山運動公園です。</p> <p>桃山運動公園は昭和 56 年度に着手してから平成 17 年度まで少しずつ整 備を進めてきております。</p> <p>野球場、陸上競技場、それから 39 ページの運動広場、テニスコート、 屋内グラウンド、それぞれの利用状況を載せてございます。</p> <p>また、魚津市体育協会が指定管理者となっております。</p> <p>続いて 41 ページは天神山野球場であります。</p> <p>利用状況はご覧のとおりでありまして、ほぼ横ばいといった状況であり ます。魚津市体育協会が指定管理者となっております。</p> <p>42 ページは市営住宅であります。</p> <p>市営住宅は、建設から 40 年以上経過したものが大変多く、老朽化比率 は軒並み 100%といった数字も並んでいるところであります。</p> <p>市営住宅につきまして、現在、市におきましても古いものはできるだけ 解体しながら跡地を利活用できるような方向へ向けて、準備を進めている ところであります。</p> <p>43 ページは管理運営の状況ということで、市営住宅ごとのコストを載せ ておりますけれども、一番左の列に管理戸数とうち募集停止戸数を載せて ございます。かっこ書きの部分がすでに募集停止しているところで、募集 停止しながら解体できるところは古いものを解体しているという状況で あります。</p> <p>44 ページは総合公園であります。</p> <p>まずミラージュプールですが、昭和 60 年には利用者が 40,000 人以上お りましたが、平成 22 年には約 24,000 人ということで、大変減少してきて おります。</p> <p>老朽化も進んでおりまして、塗装ですとか更衣室の改修だとか、最近も</p>
--	---

	<p>改修が必要であると言われておりますので、話を進めているところであります。</p> <p>施設管理公社が平成 27 年度まで指定管理者となっております。</p> <p>それから、45 ページの上中島多目的交流センターです。</p> <p>平成 20 年 4 月に利用開始された新しい施設でありますので、老朽化比率は低くなっています。</p> <p>地元の N P O 法人魚津市西部地域振興協議会が指定管理者となっております。</p> <p>46 ページは片貝山ノ守キャンプ場であります。</p> <p>ここも平成 21 年 10 月に供用開始した新しい施設であります。</p> <p>利用者の状況はご覧のとおりでありますけれども、利用料収入がちょっと少ないかと思われま。</p> <p>それから、47 ページですが、消防分団詰所であります。</p> <p>非常に老朽化した建物が多くなっておりまして、最近では旧の第 2、第 3 分団が平成 23 年 4 月から大町分団として統合したという経過があります。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。</p>
	<p>これからの進め方ですが、資料 1 の 3 ページに施設の現状と書かれたところがございまして、そこに施設区分ということで大分類が A から H までございます。それで、それぞれの分類ごとに課題あるいは問題点、あるいは今後、ヒアリングをするわけですが、そのヒアリングの際やヒアリングまでに知っておきたいこと、あるいは明らかにしておきたいことについて、ご意見などをいただければと思います。</p> <p>そういった中で、今回あるいは次回、あるいはヒアリングで、個別の施設のあり方を明確にするというわけではなくて、大きな方向性みたいなものを中間報告のときまでにまとめたと思います。</p> <p>大きな方向性といいましても、個別の施設の具体的なイメージを描いていないといけないということなので、今回、このような形でご議論をお願いする次第でございます。</p> <p>それでは順番に進めていきたいと思っております。まずはじめに施設区分 A の市庁舎等ではありますが、ご意見やご質問などありましたらどなたからでも結構ですのでいかがでしょうか。</p>
A 委員	<p>老朽化比率について、例えば 85.7%と 100%を比べるとどういうふうに判断すればよろしいでしょうか。85.7%も 100%も同じと見るのか、まだ 15%ほど大丈夫だと捉えるのか、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>100%だから駄目とか、85%だからまだいいといった言い方はなかなか</p>

<p>A委員</p>	<p>出来にくいのですが、基本的に100%ということはもう何らかの方針などが必要なものと判断され、85%はいよいよそういったところに近づきつつあるということで、非常に大雑把な言い方ですがそういうような見方ができるかと思います。</p> <p>なぜそのようなことを聞いたかと言いますと、改修を考えないといけないような公共施設が半分以上あるんだなということを感じたので、わざわざ老朽化比率として%として表すことにどういった意味があるのかと思いましたので。</p>
<p>会長</p>	<p>最近出来た施設であれば10%だとか20%というふうになっていて、そういう施設であれば老朽化が進んでいないと見てもいいのでしょうか、70%とか80%といったところは進んでいるというふうに見ますと、魚津市の公共施設というのはもう待たなしの状態であるということでご理解いただければいいのかなと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>160 近い施設については全て同じではなくて、例えば小学校だとか公民館だとか市営住宅だとか、こういった施設は市民の利用に直接関わってくると思うが、一方、市庁舎とかは市民がそんなに直接的に利用する施設ではないことから、市庁舎は役所内部でどうしていくべきか決めていただいて、最終的にこうしますと市民に意見を求める形でもいいと思うが、市民が直接的に利用する小学校などの施設については、利用者の利便性など色々な問題が関わってくることから、こういったところがどうしていくべきか難しいところで、しいてはこの委員会で意見を集約していけばどうかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>利用者あつての施設をどうすべきか、利用者を広く言うと市民全体ですが、一方で、特段、利用者というのではなくて市全域に及ぶようなもので、どちらかという管理機能みたいなものを含んでいるものとは少し見方が違うということなんだろうと思いますが、そういったところで自ずと議論の進め方が違うということですね。</p>
<p>B委員 会長</p>	<p>私はそのように思います。</p> <p>そのあたりのことを中間報告で取り込んで、見方を示していかないといけないかと思いますが、今のご意見に関してでも結構ですし、その他の点でも何かありましたらお願いします。</p>
<p>C委員</p>	<p>消防については、今、考える必要はないですよ。</p> <p>新しいですし、広域を踏まえ増築をする予定なので、周りがとやかく言う施設ではないかと思います。</p>
<p>会長 会長</p>	<p>確かに消防はこの場で検討すべき課題とは少し違うかもしれませんが、機能という面から、市庁舎だとか教育だとか文化というふうに分けておられますが、施設そのものが長寿命化したらどのくらい使えて、それは</p>

C委員 事務局	<p>他の機能の代替施設として役に立てることができるのか、といった点などから考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>本庁舎と分庁舎が分散していることで都合が悪い面はあるのですか。</p> <p>一番都合が悪いのはお客様だと思います。市外から転入された場合、住民異動の手続きのほかに水道の手続きは必要でしょうし、お子さんがおられれば教育委員会での手続きも必要でしょうし、そういったときに、それぞれ別の施設で手続きをしないといけないことは大変不便だと思いますし、また、どこにあるかもご存知ない方もいらっしゃると思いますので、職員というよりはむしろお客様だと思います。</p>
A委員 事務局	<p>一市民としては、どうしてもたらい回しにされているような感じを受けます。非常に不親切な印象を受けますので、もし新しくなるのであれば効率的にさせていただいて、分庁舎はないほうが良いように思います。</p> <p>本庁舎の耐震化に向けた話も庁内では出ておりますが、第一、第二分庁舎を合わせてどうしていくかということは議論されていないので、この委員会でそういった点も踏まえて意見を出していただければと思います。</p>
会長 B委員 事務局	<p>個人的には、是非、集約化の方向で進めていただければと思います。</p> <p>受付・窓口だけでも本庁舎に置けないでしょうか。</p> <p>ワンストップサービスについては以前からの課題でありまして、内部でも検討はしておりますが、色々な問題がありましてなかなか話が進まず、お客様にはご迷惑をおかけしているような状況です。</p>
会長	<p>施設そのものをどうしようという意見と、先ほどご意見いただいたようなサービスの提供という面から、今の施設の現状でも何か組み替えればうまくいくのではないかとこのところだと思います。</p> <p>それによって、施設の位置づけ、あるいは耐震化をするにしても優先順位というのは変わってきますので、そういったところで、ワンストップサービスを実現するなかで現在の本庁舎というのはどのような問題があるのか、それから、集約するといったときに、はたして年間の維持管理経費がどのくらい変わるのかという話かと思えます。</p> <p>そういった点で、何かデータや資料みたいなものがあれば議論の参考にはなると思いますので、計算は大変かと思いますが、一度事務局で検討してみてください。</p>
会長	<p>続きまして、B学校教育施設の各施設に対してご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。</p>
D委員	<p>児童の数が1学年300人を切るということで、中学校でいうと東西合わせて一学年10クラスいないということになるかと思えます。</p> <p>各中学校でいうと5クラスいないことになりましたが、統計によりますと、今後ますます減少していくと予想されています。</p>

	<p>会長</p>	<p>いただいた資料の中に、教育委員会の規模適正化計画がありましたが、そこでの平成 27 年度から 30 年度の予定として、吉島小と経田小から天神地区の児童が分かれた児童が西布施小の児童と統合していくとなっていました。</p> <p>せっかく吉島小に天神地区の児童が一緒になっていたのに、それをまた分けることによって、違う意識を生ませることになるんじゃないかなと思います。</p> <p>今の状況でいえば、吉島小は 1 学年 3 クラスくらいかと思いますが、天神の方々が分かるとおそらく 2 クラス程度になるのかなと思います。ただ、その後に片貝小の児童が入ってくれば少しだけ増えるとは思いますが、いずれにしても、そうするくらいなら今の吉島小に西布施小と片貝小を一緒にしてはどうかと思います。そうしたとしても 1 学年 3 クラス程度で済むと思いますし。</p> <p>また、新しくした道下小は児童数もそんなに減っていないですし、そのまま維持するとして、経田小も継続していけばいいと思います。そうしたほうが、将来を見据えたときによっぽど良いのではないかと思います。</p> <p>それで、将来的に経田小や道下小の児童が減ってきた段階で、東部地区として、ひとつにするといったやり方もその場に応じて考えていけばいいんじゃないかと思います。</p> <p>一方で西部中学校を考えたときに、バイパスが通ったため上中島小が今のところ減少していますが、将来的には増える可能性もあるのではないかと思います。</p> <p>ただ将来的には西部の小学校も 1 つにしないといけないとは思っていますので、将来の児童数を見ながらそのときに小中一貫校なども考えていけばどうかと思います。その時に、立地場所なども十分検討していけば、地域エゴもあまり出にくいのではないかと思います。</p> <p>問題は、小中と見たときに中学校よりは小学校が喫緊の課題としてあることは、異論がないだろうと思います。</p> <p>そんな中で早急に決めないといけないことは、耐震化を急がれている一方で統合なども進めないといけないということで、耐震化をしてすぐに統合などをしては効率的なお金の使い方であるとは言えないと思います。</p> <p>そうすると、とにかく小学校の統合というかあり方を検討していくというのは、これから非常に先を急ぐ課題だと思います。</p> <p>それで、色々なご意見があるかと思いますが、1 中学校に 1 小学校だとか、例えば一貫教育というものもあるだろうし、教育委員会の規模適正化計画では 1 中学校に 2 小学校くらいが適当ではないかといった意見も載っていたかと思います。</p>
--	-----------	--

	<p>そのあたりいかがでしょうか。他にご意見などありましたらお願いいたします。</p>
E 委員	<p>資料として1つあればいいと思うのが、参考資料2 規模適正化計画の6ページに「通学距離については小学校はおおむね4 km 以内、中学校はおおむね6 km 以内」が適当であると書いてありますが、今現在の小学校の配置図で市全体のものがあればもう少し議論できるのではないかと思います。</p> <p>そういったものがないと具体的なイメージができないので、そういったものをできれば資料として出していただきたいと思います。</p>
会長	<p>小中学校に限らず、全ての施設を分野ごとに地図に落としたものがあつたほうが分かりやすいかと思います。</p>
F 委員	<p>規模適正化計画のベースにあるのは、地域を分断しないというところがまず1番のスタンスになっていますが、考え方としてはまず地域を切り離して、子どもたちにとって1クラス何人が適正なのか、やはりクラス替えができるよう最低2クラスは必要だという考えで、魚津市全体の児童数が将来的に何千人になるかというところで試算して、じゃあクラス数はどれだけ必要で、また学校としては1学年2クラスなら計12クラスとすれば、1年から6年までをすべて35人学級という前提で考えたらどうなるかというふうに試算して、地域という考え方ではなくて、まず子どもの数で考えて、その後に地区をどういうふうに割り振ればいいのかというように考えたほうが話は進みやすいように思います。</p> <p>将来的に子どもの数が減っていくのは間違いないので、それぞれの地域の子どもたちというよりも魚津市の子どもという捉え方で、地域を切り離して進めていったほうがいいと思います。</p>
B 委員	<p>以前から比べれば災害への関心も高まり、地震や津波など色々なものを想定するような時代になってきました。</p> <p>切り口とすれば、耐震性というものを切り口として、耐震性がない小学校はなんとしてもやらないといけない、それは結果的に児童を守ることもあるし、もし災害が起こったときにはその施設は退避する拠点にもなるということで、こういった位置付けなのでなんとしても耐震化はやらないといけない、ついては、教育的な見地からF委員が言われたようなこういう形にしたいといった進め方のほうが良いのではないかと思います。</p> <p>これまでは、小学校の統合については地域からの色々な意見があつて、市のほうも大変苦労されたのではないかと思います、今言ったように状況も変わってきましたので、理解を得られるような状況にきているのではないかと思います。</p>
会長	<p>我々のこの委員会での切り口としては、地域の教育をしっかりと提供していくということと、防災拠点の役割もあるといったときに、その観点から</p>

事務局	<p>見るとどういふふうになるのかというところだと思います。</p> <p>それから、おそらくこの委員会ではそれに付け加えて、やはり小学校を統合していく中で年間の維持管理費だとかコストといったところを節約していけば、それがどれだけ他の行政サービスに振り分けられていくかということで、それが結果として児童・生徒のためになるといったところで、最終的には数字的なものを出していかないといけないと思っています。</p>
事務局	<p>幼稚園についてですが、市内には大町と経田の2つの公立幼稚園がございいますが、経田幼稚園については園児数が減少してきているということから、大町幼稚園と統合するというので、平成25年度は園児の募集を停止するというのを決定しております。</p>
会長 事務局 会長 事務局 B委員 事務局 B委員 事務局	<p>その後、引き続き公立幼稚園として維持されるということでしょうか。公立1園として維持していくということになります。</p> <p>そうなると大町幼稚園については耐震化などを行うということですか。耐震化など施設整備をしていくことになります。</p> <p>スクールバスは出るのでしょうか。</p> <p>今のところ考えておりません。</p>
B委員 事務局	<p>小学校のように地域の人、経田地区からは異論は出ませんでしたか。</p> <p>この話は長い期間をかけて進めてきまして、一時は頓挫したところではありましたが、3人しかいないクラスもあったり色々な状況がございまして、特にスクールバスを用意してほしいといった話も聞いておりません。</p> <p>保育園や幼稚園はどちらかというとも地区のシンボルみたいなものではありませんが、小学校ですと、昭和の合併の名残でそれぞれの地区に1校あることから各地区のシンボルになっておりますので、その小学校をなくす、統合するということになるとその地域が廃れていく、象徴がなくなるといった捉え方をされる方もいらっしゃると思います。</p> <p>小学校の統合問題については、教育委員会からも地元へ何度も話には行っておりますが、なかなか理解が得にくいというのが事実です。</p>
B委員 事務局	<p>どちらかというとも子どもより卒業生がこだわるんでしょうね。</p> <p>A小学校とB小学校を統合してAに行くとなると、どうしても皆さんこだわりがあるのかなと思います。AとBを統合して新たにC小学校を作るということであれば、それほど抵抗なく受け入れていただけるのではないかなと思っています。</p> <p>今の建物を改修などして維持していったとしても、今の学校教育の内容に合った建物になるのか正直疑問が残ります。</p> <p>無理矢理配線して行っておりますコンピュータ教育なども昔はありませんでしたし、総合的な学習ができるようなスペース、教室自体がないということもございます。</p>

	<p>また、コミュニケーションを図る意味での多目的なホールだとか、ランチルームなどもないといった状況です。</p> <p>図書室も、昭和 40、50 年代のものと今求められるものとは機能的に全く合わないと思います。</p> <p>そう考えると、AとBをAに統合するというよりも、あらたにCというものを建設するというほうが、どちらかといえば支持されるのかなと思っております。</p> <p>この委員会は行政改革委員会なので、もしそうするとした場合のコストはどうなるのかといったところも考えないといけないかと思います。</p> <p>ただ、それほど大きくは変わらないかとも思います。耐震補強工事をしても、ほとんど新しく建てるのと同じくらいコストがかかったりすることもあります。</p>
会長	
C委員	<p>学校については、改築などに対する補助金などあるのでしょうか。</p> <p>庁舎はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>学校はあります。庁舎はありません。もしやるとすれば起債になると思います。まだはっきりとは分かりませんが、現段階では庁舎の耐震工事は3億円程度かかるのではないかとと言われております。</p> <p>ただ建て替えずに耐震工事だけやって機能的に変わるかといわれれば、機能的には全く変わらないと思います。</p>
D委員	<p>公民館については、補助金はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>公民館の耐震化についての補助はありません。昔はありました。</p> <p>小学校の統合に対する補助は現在3分の2、耐震化についても元々2分の1でしたが、なかなか進まないといった状況から統合と同様に3分の2であります。</p>
C委員	<p>それならば、やはり東西小学校1校ずつにしたほうが、理解を得られると思います。あれを残してこれをこうしてというふうにやると問題が出てくるような気がします。</p>
E委員	<p>そうするとさっき言ったように通学距離の問題が出てくると思います。</p>
A委員	<p>魚津はコンパクトな地形ではありますが、やはり地図に落としてみないと分からないところはあると思います。</p>
事務局	<p>これまでも各地域においては、地域を割ったりするような統合は完全に反対というような意見が多かったです。</p> <p>また、新設校という話もありましたが、一挙に児童数が減少するということでもありませんので、既存の施設も活用しながら統合を進めていくというのが今の教育委員会の考え方となっております。</p>
E委員	<p>幼稚園や保育園については、1クラスあたりの適正な人数というのはあるのでしょうか。</p>

事務局	<p>正確な数字は今は分かりませんが、幼稚園についてはあると思います。</p> <p>保育園については、1クラスあたりというよりも保育士1人当たり何人というふうに決まっているかだと思います。それは幼児の年齢によっても変わってくると思います。</p>
A委員	<p>幼稚園については、1園でも公立として残しておく必要があるのでしょうか。保育園へ吸収したりとか考えられないのでしょうか。</p>
事務局	<p>幼稚園の保護者としては、幼稚園と保育園は違うという思い・こだわりを持っておられる方も多くいらっしゃいます。</p>
A委員	<p>市や国としての方針で、幼稚園も保育園もない、一緒なんだという方向には動いていないのでしょうか。わざわざ1園のために市財を出して残していく必要があるのかどうか。</p>
事務局	<p>経田については、幼稚園と保育園の統合についても検討はしてはしましたが、国の方針が色々変わっていったため、その話はなくなっていきました。ただ、幼保一体化といった流れはあるとは思っております。</p>
会長	<p>公立で幼稚園を維持していくという意味も含めて、考えていく必要があると思います。</p>
E委員	<p>市内の私立幼稚園はいくつありますか。私立保育園は。</p>
事務局	<p>市内に1園のみ、明星幼稚園がございます。</p> <p>保育園は私立が8園ございます。</p>
E委員	<p>私立は収益無視というわけにはいかないと思います。</p> <p>そうした場合に、市立としての保育園などの運営が民営圧迫という話にはならないのでしょうか。</p>
事務局	<p>限られた園児数を取り合う形になりますので、民営圧迫はないということにはならないと思います。</p> <p>公立保育園のうち魚津愛育園についても、平成25年度をもって閉園ということで、保護者への説明なども行っております。</p>
B委員	<p>公立に比べ、私立の保育園は児童数が増えていますが。</p> <p>それは、公立の定員数を減らして、民営圧迫しないよう私立へ移行するようにしているためです。</p>
B委員	<p>最終的に公立を全てやめるところまではいかないのでしょうか。</p> <p>流れるにはそのように行く予定ですが、とりあえずは自然減を待って、園児数が少なくなったところから愛育園のように閉園していきながら、民間へ移行していく必要があると、財政的にも必要だと思っています。</p>
B委員	<p>職員一人当たりのコストについても、私立のほうが低いですね。</p> <p>聞くところによると、公立のほうは年齢を重ねた職員でも辞めないですつといるわけですからそうなると思います。</p>
会長	<p>これは魚津市に限った話ではなく、全国的にそういう傾向にあると思</p>

		<p>ます。</p> <p>今、B委員がおっしゃられたことが事実としてあるということです。</p> <p>例えば公立の保育園について、施設が老朽化しており耐震化が必要だと、それで一通りの工事をした後に施設を民間へ譲渡して、運営してもらうということはできないでしょうか。</p>
	事務局	<p>民間の運営状況にもよりますが、今後、民間の保育園についても耐震化等が必要になってくる中で、自分たちだけではなかなか改修出来ないといったところもあるかと思えます。</p>
	B委員	<p>民間とはいえ、市からの補助がないとなかなか運営できないというのは現実ですけど、しかし、毎年、収支をきちんと整理して、最終的に黒字にして、基本財産を少しずつ積み重ねているという努力はしています。</p> <p>いつかは大型改修をしないといけないということは自覚しておられると思います。</p>
	会長	<p>それでは保育園については、そういったことの参考になるような資料があればお願いします。</p> <p>それではC児童福祉施設で、保育園のほかに児童センターやつくし学園がございいますが、このあたりについてはいかがでしょうか。</p>
	事務局	<p>児童センターについては、他の施設から独立した施設でしょうか。</p> <p>独立した施設です。少子化が進んではいますが、核家族化も進んでいることから利用者は大きく減っているわけではないと思います。</p>
	会長	<p>これはなかなか統合するというわけにはいかないですね。地域密着型の施設であるわけですから。</p>
	F委員	<p>児童センターの近くに学校を持っていくようにすればいいと思います。</p> <p>元々は魚津市に2つしかありませんでしたが、親からの要望で増えていった経緯があります。</p>
	会長	<p>例えば学校の敷地内に併設するとか、仕組み的に無理でしょうか。</p>
	事務局	<p>過去に色々と計画などありましたが、結果すれば学校とは離れたところに建っているというのが現実です。</p> <p>魚津市には児童センターが5館あるということで、多いほうだと思います。近隣では滑川市が1館であります。</p> <p>やはり魚津市の文化といえますか、どうしてあそこの地区にあるのに自分たちの地区で出来ないのかといったような話が出てきます。</p> <p>ただ、児童センターは1館 50,000 千円程度ということで施設整備がそれほどかかっているわけではありません。</p> <p>また、当初は学童保育を前提としていたわけではありませんが、現在はしっかりと学童保育の受け皿として機能していると思います。</p>
	B委員	<p>保護者からも喜ばれているのではないですか。</p>

事務局	<p>そうだと思っております。</p> <p>ただ、メインの利用が学童保育ですので、午前中の空白の利用についてどうすべきかということについて、他の自治体でも問題として上がっていたのを聞いたことがあります。</p>
F 委員	<p>午前中は乳幼児がいるお母さん方のサロンとして聞いています。</p>
A 委員	<p>ただ、それは常時使用しているというわけではないと思いますが。</p>
会長	<p>このような施設については、稼働率みたいなものを教えていただければいいかと思えます。特定の時間帯に利用者が集中しているのか、それともまんべんなく利用されているのか。</p>
C 委員	<p>児童センターは老人施設の横にあったほうがいいのでは。先生の代わりになるような方もたくさんおられるかもしれませんし。</p>
会長	<p>児童センターについては、集約化であるとか多目的化であるとか、複合化についての方向性は検討課題かもしれません。</p>
事務局	<p>児童センターに限らず、新しい施設を作るときには、そのような複合化といった考え方を検討していく必要があるだろうと思えます。</p>
会長	<p>先ほどお話が出たように、午前中の利用がまだ十分なされていないようであれば、さらに何か稼働率を高めるような仕組みがないか、それによって他の施設の負担が軽くなるか、といったことも検討事項ではないかと思えます。</p>
F 委員	<p>20 ページの福祉センターの利用状況について、お年寄りが増えているのになぜ利用者が減っているのか疑問に思っていて、やはり、このような福祉センターと児童センターを併設すると、お年寄りも子どもの愛らしい姿を見ると心が豊かになるという効果があると聞いていますし、そういった計画性を持たせれば非常にいいと思えます。</p>
会長	<p>それではD 老人・障がい者福祉施設に入っていきたいと思えますが、今ほどのF 委員の意見について何かお分かりになる範囲でございませうか。</p>
事務局	<p>福祉センターについては昭和 40 年代に流行った施設で、お風呂や機能回復訓練機能、また、レクリエーション施設といったいくつかの機能があって、老人福祉法に基づいた補助により建設した建物で、百楽荘については昭和 40 年代後半に出来た施設で、県内でも早いほうだったと思えます。</p> <p>その時は、やはりその時代のニーズに合った建物であったわけですが、それから 40 年余り経過して、今のお年寄りの方々にはやはり受け入れ難いといえますか、実際に現在利用されている方はほとんどが 80 歳以上で、1 日 300 円で過ごしておられるというのが実態であり、今でいうお風呂の機能がある施設というのは他にたくさんありますので、今の時代には少し合わなくなったのかなと思っております。</p>
E 委員	<p>経田の高齢者ふれあいの家について、平成 22 年度の年間利用者が 883</p>

		<p>人ということで、1日当たりでは2.4人になり、ほとんど利用されていないということになりますよね。</p>
会長 事務局		<p>老人福祉センターと高齢者ふれあいの家の役割分担は。 高齢者ふれあいの家は、空き家が生じたときに市が買い取った後にいくらか改修して、いわゆる家にいて閉じこもりがちなお年寄りに対するデイサービス機能を地区で持とうということで、片貝ですとお風呂を利用することができるようになっております。経田については、お風呂はございませんが、その場所で過ごしていただくものでございまして、地区社協や福祉推進員の方がお世話をしておられる施設でありますので、老人福祉センターとは性質が異なっております。</p>
D委員		<p>最近、デイサービスだとか介護が必要な施設もありますけれども、少しずつ社会情勢が変化していく中で、だんだん便利な施設も出てきていることから、施設を市域的にチェックして、どういったところに移行していくかといった判断も今後必要なのかもしれない。</p>
事務局		<p>地区だけでの利用に限定されているということで、そういったことから市で持つべき施設かどうかということも検討の視点には必要ではないかと思えます。</p>
C委員		<p>実際に利用されている方や管理している方の声を聞いてみないと判断できないところはあります。</p>
		<p>経田福祉センターについて、利用者が減っているのに利用料収入が増えているのはどうしてでしょうか。</p>
事務局 会長		<p>確認しておきます。 障害者交流センターについては、コストもそれほどかかっていませんし、公がやるべき仕事だと思えますので、この委員会であり方を検討するというよりは、社会福祉の分野でそのあり方を検討していただく施設かと思えます。</p>
F委員		<p>それでは、E社会教育・文化施設について、何かご意見などありましたらお聞かせいただきたいと思います。</p>
		<p>宇奈月の小学校ですが、4つの小学校が統合したときに、公民館と併設の小学校ということで、詳しくは分かりませんが補助金が通常よりも多くなり、市の負担も少なかったと聞いたことがありますので、他の市町村の施設建設の経緯なども資料としていただければと思います。</p>
会長		<p>公民館の運営について、市直営ではなく地区の自治振興会にお願いするというのは難しいのでしょうか。</p>
B委員		<p>公民館というのは、地域振興のためには大変大切な施設ではありますが、そこを利用する地区の方にとって大切な施設であることから、受益者負担といえますか、自分達でそこを管理していくんだという意識改革みたい</p>

	<p>なものも同時に進めていかないと、いつまでたっても市でやってほしいということになってしまうと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>まさに、公民連携というところだと思いますが、そのあたりについて何か考えることが出来ないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>市長の公約でもありますが、現在、地域のコミュニティセンター化を進めているところでありまして、自分達の地域は自分達でやっていくという方向に進めているところであります。</p>
	<p>そういった意味で、地域の方々が担う役割というのが大きくなる観点からすれば、公民館を拠点とした地域活動というのは必要だろうと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>その時に、より自立した形でやっていただけるのが、市と地域双方にとっていいのではないかと思います。</p>
	<p>また、そういう方向で施設の維持管理、あり方というものを考えていく必要があると思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>ありそドームなんかは土日に行っても混雑していてなかなか利用できませんが、一方で庁舎なんかは平日は稼働率は高いが土日はそれほどでもないですよ。総合体育館や文化ホールについても同じことが言えるかと思いますが、そういった施設について、もっと融合した形でできないかと思います。そうすればもっと稼働率の高い施設になって、長いスパンで考えたときには、そういう考え方がしていくべきだろうと思います。</p>
	<p>庁舎の建て替えを考えたときに、そういう発想で物事を考えたほうが良いんじゃないかなと思います。駐車場についても効率的に使えますし、稼働率を中心に試算してみるのもひとつの考え方だろうと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>長期的な課題としたときに、庁舎のような大規模施設のあり方というときに、当然、今お聞かせいただいたようなことが大事になってくると思います。建物が別でも駐車場が一緒というだけで全然違うと思います。</p>
	<p>稼働率や稼働の時間帯といった話は、これまで話してきました公民館や福祉センターなどについてもやはり検討していく必要があると思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>会議室についても各施設にあります。ほとんど日中には使われていない現状もありますので、そういった点も考える必要があると思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>確かに共有できるものはそうしていったほうが良いと思います。</p>
	<p>公民館や児童施設、老人施設などについて複合的に、また10年、20年先を見据えながら計画を立てて、補助金の有無なども踏まえながら一番効率的なやり方を考えていく必要があると思います。</p>
	<p>ひとつ考えないといけないのは、例えばこの庁舎のように古い建物について、経費というか光熱水費ひとつ取っても、かなり古い建物なのでものすごい効率が悪くてお金がかかっていると思います。</p>

事務局	<p>それを高効率のものにすると、かなりその辺が削減できるのかなと思います。それを20年、30年分で見るとすごい違いが出てくると思いますので、そういった点も含めて考えていく必要があるかと思います。</p> <p>公民館について、もし建て替えが必要になったときには、別に同じ場所に建てる必要もありませんので、今言われたように色々なものを共有できるような場所に建てたほうがより効率的だろうと思います。</p>
会長 B委員	<p>効率化・複合化してこそ、今後の地域の拠点になっていくと思います。</p> <p>例えばこの市庁舎を建て替えるとなった場合、高いビルにして、上層階を賃貸住宅にするとか民間にテナントで貸し出すといった方法で維持管理費を安く抑えるといった手法はありますよね。なかなか地方自治体では、需要と供給のバランスもあるため難しいとは思いますが、そういった発想もあるということです。</p>
会長	<p>庁舎建設の方法についても、PFIだとか、そのPFIについても以前よりは使い勝手が良くなったようですから、具体化してきたときにはそういったことも考えてほしいと思います。</p> <p>それでは、博物館関係について何かございませんか。</p>
C委員	<p>博物館については、魅力あるものを作って入場者を増やしていくほか考えられないのではないのでしょうか。</p>
B委員	<p>オンリーワンのまちづくりとか良く言いますよね。そういう意味では埋没林博物館と水族館は、魚津独特の、唯一無二の施設というふうに考えないといけないと思います。</p>
C委員 A委員	<p>数字だけで考えてはいけないかもしれません。</p> <p>ただ、今後もし建て替えたりする機会が来るのであれば融合的にして、外から来られた方に埋没林と水族館で共通券が出てるのにどうして隣にないのと言われないようにしたほうが良いと思います。</p>
会長 事務局	<p>指定管理者では運営は難しいのでしょうか。</p> <p>現在、財団法人施設管理公社の職員が相当数入っておりまして、市の職員というのはごくわずかとなっております。</p>
会長	<p>魚津市にとって大切な観光資源であれば、確かに採算の問題もあるのですが、来ていただく人を増やさないといけないと思います。それこそ増えないのであればこの委員会でやめようかと言い切ってもいいくらいだと思います。入場者数も低下傾向ですし。</p> <p>図書館は差し当たり開館して間もないので、比較的利用状況も好調ですしそれほど協議することもないかと思います。</p> <p>学びの森はいかがでしょうか。ここにはいくつかの機能が移転されているんですよね。そういう意味では集約化されているひとつの拠点施設であるかと思います。</p>

C委員	これだけの機能が集約化されているということは、大変稀有な施設であると思います。
会長	<p>今後は施設の集約化だとかが必要なんでしょうけど、それぞれの各地域に根ざしたものはその地域ごとに集約化していかないといけないですが、魚津市としての施設について集約化するとした場合、どこに拠点を置いてあるいは形成していくかというところで、学びの森についても考えていかないといけないと思います。</p> <p>ここを拠点として使っていけるというのであれば、何としても施設を改修して維持していけばいいでしょうし、そうでないのであれば本当に必要な機能だけを残して少しずつ見直していくということになるかと思います。</p>
B委員	最近では勤労青少年ホームや職業訓練センターの機能が学びの森に移っていったかと思いますが、当局のほうでは、この先、何かを学びの森へ移転する計画があるのでしょうか。
事務局	<p>今のところはございません。</p> <p>学びの森については、この先、多くの修繕費が見込まれております。</p>
C委員	利用料が安すぎるのではないですか。
B委員	学びの森の魅力のひとつとしては、宿泊施設があることだと思いますが、その宿泊施設が老朽化しているという問題があって、じゃあそれをリニューアルして本当にコストが見合うのかどうか専門的に調査をして、もし合うというのであれば積極的にやって、利用者数を増やすというやり方も必要だと思います。
会長	県外から合宿などで利用されたりすることもあるのですか。
C委員	むしろ県外からの宿泊利用のほうが多いと思います。
D委員	学びの森には体育館もあるため、運動部の合宿にもいいのですが、問題は休みの期間の宿泊がすごく混雑することです。宿泊施設がもっと便利ならいいのですが。
会長	そういった点について、もう少し経営センスを持った民間事業者を指定管理者として迎えてということは無理なののでしょうか。指定管理は公募したのですか。
事務局	公募したのですが、1社のみでした。
C委員	現在の宿泊機能では、なかなか人に勧めることはできないです。
E委員	もう少し施設をグレードアップして、その代わりに例えば学生割引などを考えてもいいのではないかと思います。
C委員	お風呂も1つしかないので、時間帯ごとに入ってもらわないといけないということも悩みの種だと思います。
会長	Fスポーツ施設についてはいかがでしょうか。

C委員 事務局	<p>プールについては、何か考えておられますか。</p> <p>修繕費が毎年、すごいお金がかかっており、非常に問題だと思っております。</p>
E委員	<p>プールについては、できれば作り直していただきたいと思います。しかし、それには大変なお金がかかるかと思えます。</p> <p>それで、現在のプールの1つの利用状況としては、小学校だとか幼稚園だとか、体育協会のバスを使ってプールに来てもらい、利用してもらおうといったやり方をしています。</p> <p>市内の小学校のプールも、おそらく大変古くなってきていると思い、それこそ作り替えしないといけない状況にきているのではないかと思います。それなら、市内の小学校のプールを全てやめて、総体のプールに集約して、先ほど言ったようにバスで無料で送迎すれば、効率化・経費の削減に寄与するのではないかと思います。</p> <p>また、小学校のプールは夏の間しか使えないが、総体のプールなら年間を通して利用できるということからいいのではないのでしょうか。</p>
A委員	<p>変なことを言うようですが、魚津は海に面しているのに海水浴場がない状態ですから、E委員が言われたように、プールはきっちりと新しく作って、小学校のプールはなくして、総体のプールで一括して使うのがいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>高齢化が進む中で新しいプールを作れば高齢者の利用も増えて健康の維持につながると思いますが、かといって色々な機能を持たせると建設費が非常に高くなってしまうということもあります。</p> <p>また、市だけで建てるのかという視点もあるかと思います。</p>
会長	<p>今のままで使い続けるというのはおおよそ無理だろうというのが共通の意見だと思いますが、それをじゃあどうするのかということで、いくつかご提案があったかと思えますけど、クリアすべき問題点などが行政上あるのか、例えば小学校のプールを全てなくすということは可能なのかなど、そのあたり少し、提案いただいたことにまつわるような論点を整理していただけないのでしょうか。</p>
A委員	<p>総体について、カローリングをした際、玉が曲がっていったことがあります。</p>
F委員	<p>総体については、駐車場があまりにも少な過ぎるところがあると思います。</p>
事務局	<p>総体やプールについて、もし新しくすることが必要であるとすれば、ありそドームの周辺に持っていくというのも、一つの検討事項に入ってくるのではないかと思います。</p>
C委員	<p>浄化センターの処理熱を利用するという事は可能でしょうか。</p>

事務局	ある程度活用することは可能だと思います。
会長	総合体育館については、なくしてしまうとかなり不都合でしょうか。
事務局	関係団体からの反発はかなりあると思いますが、今後、人口が減少して
	いく中で、類似施設が2つ必要なのかということになるかと思っています。
C委員	総体については、中学校の部活動によく利用されているみたいです。
事務局	稼働率の問題もあるでしょうが、ありそドームに中学生割引などを設け
	るといったことも検討材料なのかなと思います。
会長	やはり維持管理経費あるいは更新経費というものを明確にしていきな
	がら考えていかないといけないと思います。
	おそらく、温水プールも新しくするし総合体育館もそのまま使うし、あ
	りそドームもそのままある、というのはちょっと難しいのかなという気が
	しますので、もう少し取捨選択といいますか、優先順位もあるのかなと思
	います。
	それでは、G市営住宅とHその他についていかがでしょうか。
	市営住宅については、集約化に向けてピッチを上げるための具体的な方
	法みたいなものはあるのですか。
事務局	多くの市営住宅が、魚津大火の際に火災復興ということで木造の長屋を
	建設したものであり、現在は入居状況が虫食い状態になっています。
	今、少しずつ入居者を移転させながら、順次解体していくという計画は
	あります。ただ、人間相手ですので、どこまで計画どおりにいくかは分か
	りませんが、今のところその方向で進めています。
	また、敷地が非常に広いところもありますので、そういったところの利
	活用についてもどうしていくべきか議論の余地があると思っております。
会長	市営住宅についても地図上に落としていただくと分かりやすいかと思
	いますので、よろしくをお願いします。
B委員	これはある程度自然に任せているのですか、それとも指導しながらその
	方向に導いているということでしょうか。
事務局	これまでは自然に任せており、一定程度の長屋が空いたときに解体をし
	ておりましたが、それではなかなか進みませんし、やはり建物自体もかな
	り老朽化が進んでおり、老朽化比率も100%のところもありまして、そう
	いった危険家屋に市がお金を取って住んでいただいているということも
	どうなのかということもありますので、計画的に進める必要があると考
	えております。
B委員	少々補填してでも移転してもらったほうが、結局、トータル的には安上
	がるということもあるわけですね。
事務局	敷地が有効活用されていないということも問題としてあるかと思っ
	ております。

<p>会長</p>	<p>入居されている方のご事情もそれぞれあるかと思えますけど、老朽化比率が 100%であるといった状況を説明して、理解していただきながら、市民に対してより良い住環境を保障するというのが、やはり市営住宅の一つの目的でしょうから、その目的からすると今の状況はとてもじゃないがクリアできていないということかと思えます。</p> <p>先ほどお話にもしました補償面も含めて計画的に考えていくということが、住んでおられる方にとっても、また市にとってもいいことだろうと思えます。</p> <p>市営住宅について、地図や入居の状況を見ながらもう少し議論するというので、そのための資料を出していただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>国の雇用促進住宅について、随時、各市町村へ払い下げる予定となっていました。大震災があったため、そこに入居させたりということで、一時ストップしておりましたが、しかしながら、この間の新聞で滑川市が国から購入したということもございましたので、もうしばらくすれば、国の雇用促進住宅の話が出てくるかと思えます。</p>
<p>B 委員 事務局 会長 事務局</p>	<p>市営住宅に入居しているのはほとんどが高齢者でしょうか。 たまにそうでない方もおられますが、ほとんどが高齢者です。 その他の施設について、何かございませんか。 上中島交流センターについてですが、現在、公民館的な役割もしておりますが、公民館はまた別にありまして、要は上中島地区には同じような施設が 2 つあるということですが、元々の公民館の廃止については、非常に地元の反対があるということでもなかなか進まないところもありますので、この委員会で客観的に意見をいただければと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>重複しているという、なかなかその意義をつけるのは難しいところですね。そのあたりについては、次回以降、ヒアリングなどで検討していきたいと思えます。</p>
<p>A 委員</p>	<p>ミラージュプールはどうでしょうか。 水族館と併せての集客を狙って、例えば総合公園の中のレストランに人気のコーヒーショップを持ってきたりするとか、このレストラン自体が古くなってきているので。行革に関係あるかどうか分かりませんが。</p>
<p>会長</p>	<p>やはり将来の使い道として、整備して事業を継続していくのか、それともやめるのか、あるいは集約していくのかという話になると思うので、正直言って、私たちとしてはもっとこうやれば業績が上向くかもしれないからがんばりましようと言いたいところではあります。実際それはかなり難しいと思えます。</p> <p>色々なハードルもあるし、アイディアが出てくるのかといったこともあると思えます。</p>

	<p>ただ、それははじめから考えないようにしようということではなくて、そういった可能性についてご意見をだしていただいて、検討したうえで、やはりもう一段シビアな結論を出していかないと、市民の方の納得も得られないかと思います。</p> <p>観光施設のような訪問型の施設ですと、魅力を高める方向というのはあるのかということかかと思ます。魅力を高めるために改修して、維持して、というところがあればいいのですが、そのあたり、委員にアイデアを出していただいて、その点についてすでに担当課において検討されたのか、また、どういった理由で困難となっているのかというところをヒアリングで確認できればと思います。</p> <p>D委員 ミラージュプールについて、平成17年度から22年度にかけて、またV字で上向きとなっていますが、どうしてでしょうか。</p> <p>事務局 天気の関係だと思います。今年も暑かったので、結構利用客は多かったと聞いています。</p> <p>E委員 公共施設は黒字でなければ廃止するという考え方ではなくて、例えば、魚津市民にどれだけ色々な面で役に立つかといった面からも検討しないといけないと思います。</p> <p>会長 ただし、赤字でもそのままいいというわけでは当然ないです。黒字だったら民間にやってもらえばいいわけで、何も行政がやる必要はないかもしれませんが、赤字なんだけど、それは市民にとって意義のあることだというものを、この施設の中のどれがそういう施設なのか、あるいは全てがそうだったらこの財源が厳しい中でどうやって管理していくのかというところを、やはりこの委員会で考えを出していかないといけないと思います。</p> <p>C委員 こういった観光施設はそれだけの収支で考えられない、そこに来ることによって他に回って色々なことで消費することも考えられると思います。単独の収支だけで考えてはいけないかと思ます。</p> <p>会長 出来たら事務局にお願いしたいのは、訪問型、あるいは利用型の施設について、赤字なんだけどこれだけの意義があるんです、というところを何とか定量的に表すようなことができないか、一回考えていただくとありがたいです。</p> <p>利用者の満足度などでもいいですが、そこがあるとこの委員会での議論ももう少し深まるでしょうし、この結果を市民の方々に見ていただいて意見をいただくときにも、より説得力がある話ができると思います。</p> <p>それでは全体を通して何か言っておきたいことなどありませんか。</p> <p>ないようであれば、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いいたします。</p>
--	---

事務局	<p>それでは、施設のあり方検討のイメージと今後のスケジュールについてご説明いたします。</p> <p>まず、施設のあり方検討のイメージについて、第1回の委員会でもお話ししたところではありますが、改めてご確認いただきたいと思いますので、資料2、3を併せてご覧いただきたいと思います。</p> <p>先日開催いたしました第1回の委員会では、資料2のステップ1・現状把握を行ったところであり、本日の第2回から第5回までの委員会においてステップ2の課題の抽出及び整理を行っていきたいと考えているところでもあります。</p> <p>また、中間報告については、第5回までの現状把握と課題の抽出までを盛り込んだ内容にしていけばどうかと考えております。</p> <p>その後、来年度に入ってから、課題に対する対応策などステップ3及び4に進んでいきたいと考えており、最終的にはステップ1から4までを含めたものを提言としていけばどうかと考えております。</p> <p>次にスケジュールについてですが、資料3をご覧ください。</p> <p>会議の冒頭にも申しましたが、第3回の委員会では当初、現地視察を予定しておりましたが、できるだけ掘り下げてご検討いただくための時間を確保したいことから、現地視察は今のところ省略させていただきまして、その代わりに第4回の委員会に予定しております担当課ヒアリングに向けた課題整理などを行いたいと思います。ただ、検討を進めていく中でやはり現地視察を行う必要があると判断されれば、どこかの時点で1回、委員会を追加する必要もでてくるかと思っております。</p> <p>また、第4回の委員会では2つの小委員会に分かれてのヒアリングも考えておりますので、その点につきましても3回目の委員会で決めていきたいと思っております。</p> <p>今年度の委員会についてですが、当初は今年度末の中間報告までに計5回の委員会を予定しておりましたが、協議する時間が不足するのではないかと判断いたしまして、事務局からの提案ですが、現地視察とは別に1回増やして6回開催してはどうかと考えているところでもあります。もし現地視察をするとすれば7回となります。</p> <p>なお、来年度に入ってから課題に対する対応策の検討につきましても、今のところ2回の委員会を予定しているところですが、進捗状況によっては回数を増やしてご検討いただく必要もあるのではないかと考えているところでもあります。</p> <p>委員の皆様には大変なご負担をお願いするものでありますが、何卒よろしく願いいたします。</p> <p>事務局からは以上であります。</p>
-----	---

	<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>それでは、スケジュール等について何かご質問等ございますか。</p> <p>特にないようであれば、これで本日の議事はすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。</p> <p>本日は大卒のところでも議論していただいたわけですが、今後、人口も減って、財政的にも厳しくなるということで、この後はシビアな意見もいただきながら進めていただければと思っております。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上終了</p>
--	----------------------	--